

社会福祉調査の基礎

問題 79 高齢者の通所型サービス事業を経営するA社会福祉法人では、地域における公益的な取組の内容を検討するため、地域の高齢者に対する無記名の質問紙調査を企画し、高齢者福祉を専門とするB教授の協力を得て、調査を実施することにした。その際、調査結果は、B教授の論文執筆にも用いることで合意した。

次の記述のうち、調査実施における倫理への対応として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 A社会福祉法人のサービス利用者を調査対象から除外した。
- 2 調査結果はA社会福祉法人による地域における公益的な取組の内容検討と、B教授の論文執筆に用いることを依頼文に記載した。
- 3 A社会福祉法人からB教授への利益供与とみなされないために、調査費用の負担をB教授に求めた。
- 4 調査対象の設定において、B教授がこれまで実施してきた調査の回答者名簿を活用することとした。
- 5 B教授は、調査によって得られたデータの中から、自らの仮説に適合する一部のデータを選出して論文を執筆した。

問題 80 調査デザインに関する次の記述のうち、適切なものを2つ選びなさい。

- 1 有意抽出は、標本数が限定されている場合に、標本抽出の確率を等しくする方法である。
- 2 無作為抽出による標本調査は、標本の特性を推論することを目指す方法である。
- 3 実験計画法は、因果関係の検証に適した方法である。
- 4 縦断調査は、複数の母集団を対象に一時点のデータを収集する方法である。
- 5 パイロット調査は、調査地域や実施計画、調査にかかるコスト等の適切さを確認するために、まずは小規模な標本に対して行う方法である。

問題 81 A市では、市内の小中学生を対象とする生活実態調査を行うこととなった。

本調査の検討を行う委員会において、中学生になると朝食を摂らない生徒が多くなることが指摘され、調査では小学生と中学生の朝食の摂取状況の違いをクロス集計によって検証することとなった。調査票では、朝食を摂る頻度に関する質問を設け、その選択肢を「週に3回以上／週に1～2回程度／月に1～2回程度」とした。

次のうち、この選択肢に当てはまるものとして、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 SD法
- 2 比例尺度
- 3 順序尺度
- 4 複数回答法
- 5 リッカート法

問題 82 統計法に関する次の記述のうち、適切なものを2つ選びなさい。

- 1 公的統計を国民にとって合理的な意思決定を行うための基盤となる重要な情報として位置づけている。
- 2 調査票情報の二次利用が禁じられている。
- 3 国勢調査の報告の求めであると人を誤認させるような説明をして、個人又は団体から情報を取得した者に対しては、罰則が適用される。
- 4 厚生労働省が実施する介護サービス施設・事業所調査は、基幹統計に含まれる。
- 5 都道府県に統計委員会を設置する。

問題 83 インタビューデータの整理と分析に関する次の記述のうち、適切なものを
2つ選びなさい。

- 1 調査者自身の意見と合致する内容を録音データから抜き出し、逐語録を作成した。
- 2 対象者の発言内容を、関連する専門用語に当てはめてコーディングを行った。
- 3 カテゴリーの数が先行研究と近似するように、コードを分類した。
- 4 分析を終えるまで、インタビューの逐語録を繰り返し参照した。
- 5 解釈の妥当性を確認するために、分析結果を図式化した概念図を対象者に説明し、意見を求めた。

問題 84 事例を読んで、次のうち、社会福祉法人A会が行った評価・分析の方法に
該当するものとして、最も適切なものを1つ選びなさい。

〔事 例〕

社会福祉法人A会では、中期事業計画の策定に際し、法人の現状について、他の法人と比べて優れている内部の資源や能力、改善の余地がある内部の課題などの内部環境要因を洗い出し、それに影響を与える活用可能な外部環境の好条件や、成長や存続を妨げる外部リスクなどの外部環境要因も含めて、将来の方向性を整理した。

- 1 PDCA
- 2 SWOT分析
- 3 バランス・スコアカードによる評価
- 4 ロジックモデル
- 5 トライアンギュレーション